

8月9日 平和について考えました

さつきやま魂

さつきやま魂の誇りを胸に、ふるさとに貢献する青年の育成

崎山中学校だより
8月9日 第8号
文責 校長 山下



長崎に原爆が投下されてから今日で76年が経ちました。長崎市の平和公園では、毎年平和祈念式典が行われています。8月9日は、「県民祈りの日」であり、決して繰り返してはならない戦争の恐ろしさ、そして、これからも続けなければならぬ平和の尊さを考える日です。本校でも、6月下旬から各学年で平和学習を行い、テーマに基づいて一人ひとりが平和壁新聞を作成しました。

今日の平和集会では、道脇実行委員長を中心に実行委員で準備を進め、被爆体験をもとに作成された絵本の読み聞かせや崎山中学校の平和の誓い（右参照）を述べました。

..... 私たちにできることは、この崎山から平和の輪を広げていくことです。地域の人たちに元気な声で挨拶すること。仲間を大切に、思いやりの心をもつこと。授業を楽しく一生懸命に受けること。私たち27名の仲間が、楽しく学校に登校できること。そして、これらは、さつきやま魂の「友愛」に込められていると私たちは考えます。「ふるさと、人を愛する魂」、平和は崎山から。これからも「友愛」の心を意識して、生活していきたいと思います。

私からは、昨日閉会した「平和の祭典」と言われているオリンピックから平和について考える話をしました。オリンピックの目的は、「人間の尊厳の保持に重きを置く平和な社会の推進を目指すこと」です。そのために、スポーツマンシップが重要視されます。今回の東京オリンピックでもそういう場面を数多く見ることができました。常に、フェアプレー精神をもったオリンピック選手のような心で人と接することを意識したいものです。



1学期学校評価から

1学期の学校評価の集計結果を裏面に掲載しています。これは、生徒・保護者・教師・地域のそれぞれの立場から各項目について4段階で評価していたいただき、その平均を数値で表したものです。また、今年度は、目指す生徒像である「さつきやま魂」の項目を新たに設けました。

「さつきやま魂」の項目では、②友愛、④勤労に関して高評価で、特に、④は2以下の評価がなく、学校行事や無言清掃等に熱心に取り組んでいることが評価されたようです。他の項目においては、⑫の挨拶に関して、生徒の評価がかなり高く、生徒が挨拶を意識して生活していることが伺えます。今後とも家庭・地域と連携し育てたいと思います。課題としては、昨年度に引き続き⑥の家庭学習です。2以下の評価をした人の割合もやや高くなっています。学校と家庭が連携して、まずは習慣化を図る取組が必要だと考えます。お忙しい中、アンケートへの御協力ありがとうございました。

△保護者及び地域の方からの意見等▽
・全体的には何に對してもやる気があることが多いが、やる気もなく顔や気持ちにでている子もいる。
・子供の長所や短所をよく見て注意したり、褒めたり、時には叱ったりして下さり感謝している。
・街頭での挨拶運動など、地域の人を元気づける行動を今後も継続してほしい。

県中総体（剣道競技）

7月25日（日）、長崎市で県中総体剣道競技が開催され、3年生の小幡君と2年生の境脇さんが個人戦に出場しました。小幡君は1回戦で有明中の生徒に0対1で惜敗。境脇さんは、1回戦横尾中の生徒に勝利し、2回戦で島原第二中の生徒に延長の末敗れました。2人とも、全力で試合に臨み、錬磨の心で頑張りました。



「ちゃんこ練習」

7月末に、3年生が上崎山公民館で、青年団長の里中さんから「ちゃんこ」の手ほどきを受けました。以前も毎年7月から8月にかけて、上崎山青年団の皆様から指導を受けていました。地域の伝統を継承するためにも必要だと考え、7月のPTAの折に3年生の保護者に協力をお願いしました。五島市内でコロナ感染者が出たため、2回しか実施できませんでしたが、とても有意義な練習になりました。今後は、上崎山青年団の方に、学校で指導していただく予定です。

